

市制 20 周年記念



東大淀の祇園祭 安全防災マップ作り



東大淀小学校

令和 6 年度 3年生の取組

東大淀の祇園祭

私たち東大淀地区には昔から伝わる行事として、7月に行われる祇園祭があります。地域のみんなで、だしを引っぱって地区をねり歩きます。小学生や中学生らは、だしの中で太鼓や三味線を演奏したり、だしの周りで旗や花がさを持っていっしょに歩いたりして、祭りを盛り上げます。



私は今年、花がさを持ちました。花がさは、すごく重たかったです。暑い日だったけど、ハッピを着て、楽しかったです。楽しくもり上がる地域の行事なので、これからも続けてほしいです。

今年は、友だちが花がさを持って、「重たい」と言っていたので、自分も持って歩いてみたいと思いました。私は来年、花がさを持ってみたいです。

私は、太鼓をひいている中学生が、かっこよかったから、山車（だし）に乗って、太鼓をやってみたいです。



東大淀の安全防災マップ作り

東大淀小学校では、毎年3年生が東大淀町づくり協議会の方々と協力して、校区数か所の安全防災マップを作っています。何年かで全ての地区を回ることになりますが、数年後には古くなってしまった施設があったり、新しい施設ができていたりするので、毎年安全防災マップを作ることは大切なことです。



消火栓を開けると、水を出す栓があったよ。



学校にも防火水槽があるんだね。



調べた施設やきけんな場所をみんなで話し合いながら、大きな地図にメモしました。全校のみんなに見やすい地図になるように、ふせんの色と矢印の色をそろえたり、地図の周りに写真をおいたりして工夫しました。出来上がった地図は、1階のけいじ板にはり出して、全校のみんながいつでも見られるようにしました。

ボランティアさんが、学校のわたりろ
うかにある防火水そうを見せてくれたり、コンクリートと畑の空き地では、畑の空き地の方ににげたほうがいいと教えてもらったりしました。みんなに安全な所・きけんな所を知らせた方がいいので、これからも続けてほしいです。

私たちの身の回りには、たくさんのきけんな物や場所・安全な物や場所があると分かりました。いっしょにボランティアさんも来てくれました。タウンウォッチングをやった所でも新しくなるので、これからもやったほうがいいなと思いました。

「町には、こんな物があるんだな」とか「これ、安全だな」と思いながら、きろくしました。学校にもどって、大きい地図にシールとふせんをいっしょにおとしました。タウンウォッチングでの見のがしがないか、もう一度見てもいいと思いました。

